

スマート・フードチェーンシステム  
において取り組むべき課題  
【育種・生産分野】

平成28年2月23日

農林水産戦略協議会事務局

# 農林水産戦略協議会の進め方

回数	予定時期	①総合戦略2015の課題及び平成28年度アクションプラン選定プロセスの検証	②平成29年度予算で取り組むべき課題の検討	③アクションプラン特定施策のフォローアップ及びブラッシュアップ
第1回	1/19 (火) 14:00-16:00	◆ 総合戦略2015及びアクションプランにおける課題の検証	◆ H27年度農林水産戦略協議会における議論の進め方について ◆ 関係者からの進捗報告を受け、H29予算で取り組むべき課題について議論 【スマート生産システム】	◆ 関係者からの進捗報告を受け、AP特定施策のフォローアップ及びブラッシュアップ 【スマート生産システム】
第2回	2/23 (火) 15:00-17:00		◆ 各府省からの進捗報告を受け、H29予算で取り組むべき課題について議論 【スマート・フードチェーンシステム① ；育種、生産】	◆ 各府省からの進捗報告を受け、AP特定施策のフォローアップ及びブラッシュアップ 【スマート・フードチェーンシステム① ；育種、生産】
第3回	3/8 (火) 9:30-12:00		◆ 各府省からの進捗報告を受け、H29予算で取り組むべき課題について議論 【スマート・フードチェーンシステム② ；加工・流通、消費】 ◆ 基本計画の課題	◆ 各府省からの進捗報告を受け、AP特定施策のフォローアップ及びブラッシュアップ 【スマート・フードチェーンシステム② ；加工・流通、消費】
		◆ 報告書（案）とりまとめ	<div style="border: 1px solid green; padding: 5px; display: inline-block;">                     ✓ H29年度で取り組むべき課題・領域の明確化                      ✓ 施策推進に関する留意点のとりまとめ 等                 </div>	

# 1. H28年度特定施策

- 昨年度の地域資源戦略協議会では、生産、加工・流通、販売を技術でつなぐ「スマート・フードチェーンシステム」において、アクションプラン特定施策として8つの施策を特定した。
- そのうち、今回議論を行う育種・生産分野では、7つの施策が特定されている。
- 特に、農林水産分野の政策課題の検討には、SIP施策「次世代農林水産業創造技術」との関連性が重要であり、27AP施策の特定に当たっては、SIPのほか、関係府省の実証事業も含め、網羅的かつ俯瞰的な検討を実施した。

システム	重点的取組	施策番号	施策名
スマート・フードチェーン	次世代育種システム(SIP及び大会プロジェクトを含む)	フ・内科01	新たな育種体系の確立(SIP)
		フ・農01	ゲノム情報を活用した農畜産物の次世代生産基盤技術の開発
		フ・農02	国産花きの国際競争力強化のための技術開発
	ニーズオリエンティッドな生産システム(SIPを含む)	フ・内科02	次世代機能性農林水産物・食品の開発(SIP)
		フ・農03	地域の農林水産物・食品の機能性発掘のための研究開発
		フ・内科03	収量や成分を自在にコントロールできる太陽光型植物工場(SIP)
		フ・農04	ウナギ種苗の大量生産システムの実証事業
	加工・流通システム(SIP及び大会プロジェクトを含む)	フ・農02	国産花きの国際競争力強化のための技術開発
		フ・農05	輸出産地の課題解決に向けた研究開発
	実需者や消費者への有益情報伝達システム		

## 2. 同システム検討における具体的な進め方及び検討のポイントについて

- 育種、加工・流通、高付加価値化等に係る要素技術を繋ぎ、システム（バリューチェーン）を有効に廻すための施策の検討  
例）システムを機能するための作業手順やルール、情報等の標準化 等
- スマート・フードチェーン形成のための府省連携が必要な情報プラットフォームや経営支援ツール等の技術の検討
- 重点化してきた様々な技術分野の中でも、特に注力すべき技術開発やその技術の社会実装に必要な施策の検討  
例）T T P 対策の研究開発テーマ（畜産分野）、輸出に向けたオールジャパンでのマーケティング戦略 等

# (参考) 昨年度地域資源戦略協議会で議論したシステム

## ① スマート・フードチェーンシステム

国内外の市場や消費者のニーズを、育種、生産、加工・流通、品質管理等に反映させ、付加価値の高い農林水産物・食品を提供

- ・多収性、日持ち性など、有用な形質を持つ品種の開発
- ・機能性農林水産物・食品の開発や次世代施設栽培による高付加価値商品の生産・供給
- ・輸出にも対応可能な品質管理技術、鮮度保持技術等の開発

## システム化概要

